



まちの駅ニュース

人と人の出会いと交流をサポートする
まちの情報発信基地

●第 16 回 まちの駅全国フォーラム in ふくしまの報告 (10 月 18 日～19 日)

初日は、全国のまちの駅仲間と地元メンバーの約 200 人の参加がありました。基調講演は、料理研究家の枝元なほみさんが「つながることの大切さを考える」と題して。3.11 に学んだことは「人と人とのつながり」の大切さ。つながる仕組みとしての「まちの駅」の重要性を再認識させられました。分科会は、「まちの駅講座」のほか、「防災」「観光」「物産」をテーマに各地の取り組み事例に学び、具体的なアクションプランを考えました。2 日目のエクスカージョンは、3 コースに分かれ、現状のふくしまに直に触れるとともに、メンバー同士の親睦を深めました。

※詳しくは報告書をご覧ください。



●第 17 回 まちの駅全国フォーラムは 「埼玉県 本庄市」に決定しました!!!

ど利益ある田
ほいじょう

平成 26 年 10 月 31 日(金)、
11 月 1 日(土) の 2 日間で開催
します。本庄市「まちの駅一座」

が今までの大会とはちょっと違った演出で、みなさんを歓迎しますとのこと。乞うご期待! と、地元も盛り上がっているようです。行ってみたいくなる本庄の魅力については P3 の特集ページをご覧ください。これを読んだら本庄市に行きたくなること必至です!

Topics 笠松競馬場がまちの駅に!



岐阜県笠松町のまちの駅ネットワークに、地方競馬の聖地「笠松競馬場」が加わりました。

平成 26 年は午年。近くにお越しの際には「馬のまち笠松」にぜひお立ち寄りください。

●M-9 まちの駅九州沖縄会議 in かすやの報告

第 6 回まちの駅九州沖縄会議 in かすやが、10 月 12 日、福岡県粕屋町の「まちの駅サンレイクかすや」で開催、九州・沖縄のまちの駅仲間が集いました。

活動発表の中で、地元の県立福岡魁誠^{かいせい}高等学校が、総合的な学習の時間を活用して、まちの駅のみなさんと一緒にバラの無農薬栽培やブロッコリーの料理コンテストに挑戦している活動を報告。福岡魁誠高校は、平成 23 年 11 月に「まちの駅」に登録、駅長は中釜隆司校長。まちの駅になっている唯一の高校です。発表する生徒の初々しさに、参加の皆さんも拍手喝采を贈っていました。



※来年は、9 月 5 日～6 日に始良霧島大会を開催。

●第 3 回オールとちぎ交流会 in ばとう 開催!

7 月 26 日(金)、27 日(土)に栃木県内のまちの駅駅長が集まって交流会が開催されました。

26 日は 16 時から各地区代表による現状報告があり、続いて 2 つのテーマに分かれて、まちづくりについて考える分科会が 2 つのグループに分かれて行われました。



分科会の様子

テーマは「まちの駅活用術」と「まちの駅言いたい放題(自慢、悩み etc)」です。

その後、17 時半からテーマごとの発表があり、夜は温泉旅館へと移り、懇親会で盛り上がりました。

26 日(金)の午後(報告会前)と 27 日(土)午前にはそれぞれ、馬頭町のまちなか散策コースが用意され、参加者は開催地の文化や観光を楽しんだそうです。



乾徳寺にて



懇親会で集合記念写真

来年は「おおひら」で開催決定!

ばとうまちの驛 代表 藤田さん

交流が深まるにつれて、親近感が湧き、ふだん思っていることが気軽に話し合えるようになってきたようだ。そのまちの特徴が感じられ、開催地を変えて実施することは意義深いことだと思う。

●モノの交流をしませんか？



大河ドラマ「八重の桜」の主人公である山本八重にちなんで「ハンサムウーマン」ブランド商品。会津地域の多様な業種が連携して一つのブランドを創り上げている。
(写真は全国フォーラムで展示されたもの)

まちの駅全国フォーラムでも「モノの交流分科会」で活発な議論が行われましたが、全国のまちの駅ネットワークを利用して、各地の物産を交流させることに興味を持っている方は多いです。まちの駅の特長である少量多品種の物産を扱うために、会津まちの駅ネットワークでは、多様な物産の統一的な「ハンサムウーマン」ブランドを開発中です。また、鹿児島まちの駅連絡協議会では、送料を節約するための鹿児島「5万円セット」を開発しています。

こういった情報は、まちの駅ウェブサイトでもドンドン情報を発信していきます。みなさまのネットワークでも、このような商品づくりを開始しませんか？

なお、本商品に興味のある方は、まちの駅事務局までお問い合わせください。



鹿児島まちの駅連絡協議会がおすすめする、さつま揚げやお酢など鹿児島銘産の詰め合わせセット(5万円セット)。リクエストに応じて数量を変えることが可能。

☆☆☆お問合せ☆☆☆

まちの駅連絡協議会 (担当者: 丸尾)

〒101-0031

東京都千代田区東神田 1-3-10 KIビル3階

電話: 03-5823-4190 FAX: 03-5823-4191

●東京都江戸川区、小松川で沖縄気分



10月19日、20日に江戸川区小松川パルプラザ商店街で、沖縄フェスタが行われました。これは、2年前の全国大会で小松川と沖縄の担当者が出会ったことがきっかけで、「お互いのまちを盛り上げよう」と開催されました。当日は、沖縄の伝統芸能エイサーを取り入れた「琉球祭り太鼓」や三線ライブが会場を盛り上げてくれました。また、蕎麦屋で「沖縄そば」が、精肉店で「てびち(豚足を煮込んで柔らかくして、味付けしたもの)」を販売、特設テントではタコライスが提供されました。現在でも商店街との交流が行われ、店頭では沖縄の物産が購入できる棚が設けられています。これがきっかけで、地域と人との結びつきができ、新たな集客につながることを期待されています。

●まちの駅で防災力向上を 伊達市・見附市の防災協定

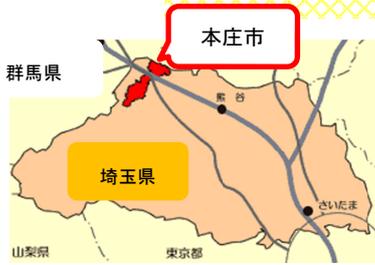
平成24年11月、福島県伊達市と新潟県見附市は広域防災協定を締結しました。いざという時に十分に機能させるためには、行政同士の協定が結ばれても、市民同士でお互いを理解しておかなければなりません。そこで、見附市の「まちの駅」関係者の協力を得て、伊達市にも「まちの駅」のネットワークをつくり、市民防災力の向上を図る事業を提案したところ、国土交通省の「平成25年度広域的地域間共助推進事業」に採択されました。11月14日、15日には、見附市のまちの駅を伊達市メンバー14名が視察しました。先進的に取り組まれている見附市の防災まちづくりの実践例や市内に点在する「まちの駅」の視察を行うとともに、交流の機会を設けてお互いの顔の見える関係が始まりました。今後は、伊達市でまちの駅設置に向けた具体的な検討が行われます。すでになんかのまちの駅候補施設が挙げられています。

伊達市は平成18年に5つの町が合併してできた市ですが、市としてまとまるには、まだ時間がかかるとのこと。まちの駅のネットワークが、旧町をつなぐ役割を果たすことも期待されています。



特集!!!

ご利益のある町 ほんじょう



本庄市は、東京から 80 km、埼玉県西北のまちです。自然災害が少なく、水と緑に囲まれた自然豊かな地域。本庄市は、かつて中山道最大規模の宿場町であった本庄地区と里山に囲まれた児玉地区に大きく 2 つに分かれており、街中と里山の両方を楽しむことができます。

本庄には 55 駅のまちの駅があり、ネットワークで活動しています。駅長会議を定期的開催、駅どうしのつながりの強化につながるイベントも多数行っています(ピザ教室、ミニ盆栽教室、暑気払いや忘年会など、みんなが集まる機会がたくさんあり、とてもうらやましいかぎりです)。また、本庄へ訪れた人へ、まちの魅力を伝えるための「勝手にまちのコンシェルジュ」講座も開催されていて、「みんなで、まちを盛り上げていこう!」という力が感じられます。

さあ、行こう! 本庄へ! 第17回 まちの駅全国フォーラムは「本庄市」で開催されます。 2014年10月31日(金)~11月1日(土)

第17回全国大会に向けて、改めて本庄とはどんなまちか知りたくなりました。まちのキャッチフレーズは「ご利益のある町 ほんじょう」。ご利益はあるのか。。。上野から JR 高崎線に乗って 90 分、まちの駅の皆さんに会いに行ってきました。



~いろいろなご利益がたくさん! あなたはどのご利益を得たい?~



借金なし地蔵



さざえ堂



青いダルマ

まずは、借金が無事に返せるという「借金なし地蔵」です。たくさんの収穫量があることから名前がついた在来種の大豆を使った「借金なし豆腐」もあるくらいです。また、百体の観音が祀られている「さざえ堂」、日本でここのだけ「日本」という名前がついた「日本神社」には競争の神が祀られています。なでしこジャパンも青いダルマで、優勝祈願。そして、笑う埴輪が出土したことから、笑顔が絶えないプラス思考でいたいという願いを込めて「はにぼん」という名のゆるキャラが生まれたそうです。また普寛様は、御獄教全国唯一の直轄霊場です。まだまだ、ご利益のあるパワースポットがたくさんあるようです。



笑う埴輪



はにぼん



普寛様

●案内人
あぁ、立花の駅 立花さん(写真左)
プラス思考の駅 阿奈さん(写真右)



目が利きます!

「ホッと人駅」さんのお店の正面に市内のまちの駅の手作り案内看板があります。そこから少し行くと「自家焙煎コーヒーの駅」さんがあり、店主の黒柳さんと話しながらコーヒーを飲んでいると「ホッと人駅」の松浦さんが来てくれました。こうやってまちの駅の人が集まってくれるのも本庄の特徴だと思います。また、お店にある古い蓄音機とレコードは松浦さんからの提供だそう。お店の雰囲気合っていてとても素敵でした。



左から:ホッと人駅 自家焙煎コーヒーの駅



●案内人
ホッと人駅 松浦さん(写真左)
自家焙煎コーヒーの駅 黒柳さん(写真右)



小暮駅長



来年の全国大会に向けて。。。「まちの駅一座」を立ち上げることに!

「5年、15年たっても本庄まちの駅全国フォーラムは良かった」と印象に残る大会にしたいと「たまり漬け一座笑売の駅」の小暮駅長さんに相談したところ、心よくお引き受けいただき、まちの駅とたまり漬け一座がコラボレーションして「まちの駅一座」を立ち上げることに! 大会に向けて準備段階に入ったとのこと。乞うご期待!

「たまり漬け一座 じてんしゃ村」小暮さんは歌が得意。カラオケ大会優勝で海外に3回も行ったそう。全国フォーラムで歌声が聞けるのが楽しみです。

本物! 本庄のご利益! 突然の訪問にも関わらず、心温まるおもてなしありがとうございます。さてご利益はあったのか。。。・天気が良かった※次の日だったら集中豪雨・帰り道で 50 円を拾った・食べ物が美味しかった・便通がよくなった・運動になった。等、「効果あり」と話していた矢先に、「ご利益ってそんなに早く出るものなの?」と事務局長からのコメントが。。。しかし、みなさんとお会いして、「本庄から何かが始まる」というワクワク感が湧き上がってきたのです。その気持ちこそが「ご利益」です!

